

令和6年度入学 一般選抜後期日程 外国語(英語) 講評

第1問

【出題のねらい】

専門的な語彙が含まれる文章の大意をつかんだ上で、文の構造、文法、語彙を理解し、内容を把握する力をみることをねらいとした。

【講評】

全体の正答率は3割程度であった。単語を単純に繋げて、自身の知識から解答するのではなく、文の前後関係から内容に沿って考え、英文を読み込むことが大切である。

問1

全体の正答率は5割程度であった。②及び④の誤答が目立った。いずれも文の構造を把握できれば正答を導き出せるものであった。読解に活用できるよう、基本的な文法、語法の知識を確実にしておくことが望まれる。

問2

全体の正答率が低かった。extractの意味や、those componentsが何を指しているのかを理解していない解答が多くみられた。また、oilなどの意味を文脈からつかめていない解答も散見された。逐語訳ではなく、文章全体の流れを読む能力を高めることが重要である。

問3

GMOを、組織と勘違いした受験者がいた。organismをorganizationと読み違えたことが原因と思われる。これにより、GMO(という組織)が食品を供給することをEUが禁止したと解釈した誤答が多くみられた。また、bannedをburnedと読み違えた解答も多かった。

問4

「自身が農薬となるように遺伝子を組み換えている」という点を理解していない受験者が散見された。

問5

HFCSの利点に関しては、概ね問題なかったが、HFCS内の果糖が肝炎を引き起こすという点に関してまで言及している受験者は少なかった。また、liverが「肝臓」、dietが「食事」と

いう意味であることを理解していない受験者も散見され、diet を日本語の「ダイエット」と解釈した受験者もいた。果糖不耐症と肥満に関して、本文では、HFCS とのはっきりした関連性は述べていない。

第2問

【出題のねらい】

文章を読み、内容を正確に把握する力をみることをねらいとした。

【講評】

全体の正答率は6割程度であった。長文の全体の流れをつかみながらも、細かい箇所まで読み解くことが求められる。

第3問

【出題のねらい】

会話文を読み、それぞれの状況に応じた適切な英語によって、会話を表現することができるかどうかをみることをねらいとした。前後の会話だけではなく、全体の会話を捉え、それを踏まえた上で、最もふさわしい単語やフレーズによって表現することができるかを問うた。

【講評】

全体の正答率は6割程度であった。

問1

全体の正答率は大変高かった。④がもっとも正答率が低く難問であった。多くの受験者が、文の主語を誤答していた。例えば、“When will you be repaired?” や “When do you finish repair?” などと解答していた。①においても同様に、“Do you sit the seat?” のような誤答が散見された。文の主語を的確に把握する必要がある。

問2

②及び③に関しては正答率が低かった。②はどのような種類の犬かを問う英文に解答する必要があったが、様々な種類の誤答が散見された。③はもっとも正答率が低かった。多くの受験者は、まだ名前を決めかねていることを解答すべきであると理解してはいたが、それを表現できていなかった。④に関しては、会話の流れを把握していないために、適切に解答できていない受験者が散見された。

第4問

【出題のねらい】

英語の会話文を読み、会話の流れをつかむ力をみることをねらいとした。その上で、流れにふさわしい会話を選べるかを問うた。

【講評】

全体の正答率は6割程度であった。多くの会話文を読むことで話の流れをつかむ練習をすることが望ましい。特に、会話で多用される決まり文句やイディオムを覚えておくこと、日常生活に関する話題を英会話で表現する練習をしておくことが、会話表現を適切に使用する上で役立つであろう。

第5問

【出題のねらい】

本問題では、提示されている条件に最低限従い、題目に関して賛成か反対か、自分の意見を英語で論理的に述べる力をみることをねらいとした。

【講評】

全体の正答率は6割程度であった。本問題では、受験者に対して、人生でできるだけ早期に外国語を学ぶ方がよいかについて、少なくとも5文で記述するよう求めた。その上で、英文の内容、構造、そして文法について評価した。本問題の平均点は高く、空欄の解答が非常に少なかったことから、受験者が理解しやすく、解答を書きやすかったようだ。得点が高かった。受験者は、よい、またはよくないと思った理由を述べていた。理由を述べずに意見を述べるだけの場合、得点が低くなった。英文の構造に関しては、短い解答の段落でトピック文を二、三回繰り返したり、言い換えたりする受験者が散見された。文法に関しては、基本的な文の構造の間違いから、単語の基本的なスペルミスまで様々であった。これら全てのことが、総合得点の低下につながった。